

LIBRARY



日も短くなりました。長い夜には、読書をお供にしてはどうでしょう？今や多くのコンテンツが楽しめる時代にあって、読書の魅力は、文字を自分のペースで読むことで物語が立ち上がったたり、著者と脳内（あるいは心）で静かに対話できることかもしれません。

『スターゲイザー』 佐原ひかり著 集英社 2024



スターを夢見る10代後半から20代前半の6人が、それぞれの章で語り手となる。アイドル事務所「ユニバース」に所属するデビュー前の青年たちはリトルと呼ばれる。リトルでいられる上限は10年と決まっている。彼らはそれを「寿命」という。華やかな芸能界にアイドルとしてデビューし、更に生き残るには何かを犠牲にし、最後は燃え尽きるしかないのか？そこに疑問を抱いた少年が、投げかけた波紋は他の5人にも少なからぬ影響をもたらす…。

『森と、母と、わたしの一週間』 ハ束澄子著 ポプラ社



中学生の野々歩は、人づきあいが苦手。でも教室でポツキになるのは、辛い。だから無理して合わせてきた。でも、ある朝、足は学校に向かわず、遠い山陰の小さな町をめざす。そこはこの春亡くなった母方の祖母の家。母は葬儀のあと、実家の片づけを理由に、2学期の今も帰ってこない。母恋しさの行動ではあるが、突然押し掛ける自分にどんな顔をするのか、不安だった。ところが母は、祖母の残した山で、ちいさなようちえんの手伝いをしていて、満面の笑みで野々歩を迎える。どこか変わった母と野々歩の森での一週間を描く。

『神々と戦士たち』 ミッシェル・ペーパー著 あすなろ書房



ちょっと古いファンタジーなのですが、リクエストされたので、購入しました。主人公は12歳の少年ヒュラス。ヤギ飼いとして、妹と暮らしていましたが、ある日「黒の戦士」に襲撃され、山を追われます。その途中、クレタ島からきた男から青銅の短剣を託される。紀元前1500年、青銅器時代の古代ギリシアが舞台で、全5冊のシリーズもの。評論社から出ている『クロニクル千古の闇』シリーズが、代表作で今年8巻目が日本で出版されました。こちらもうす入荷予定です。ファンタジー好きな人におススメです。

『地雷グリコ』 青崎有吾著 角川書店 2023



主人公の射守矢真兎（いもりやまと）は、文化祭の出店場所として学校の屋上をゲットするために、生徒会の柵先輩と対決することに。毎年何らかのゲームで対決をするのが、この学校の伝統なのだ。今年はそれが、地雷グリコ。じゃんけんをして階段を上り先についたほうが勝ち。でもそれだけじゃ単純すぎるので、二人は階段に（架空の）地雷を置くことができる。敵の地雷を踏めば爆発して10段下がる。自分の地雷を踏んでしまったら、爆発はしないが、地雷の場所がばれる。勝って進めるのは3段か6段のみ。頭脳明晰かつ心理戦にも優れている真兎が、どうこの難問に立ち向かっていくのか。そして、もちろん、これは青春小説。緻密な推理小説が好きなあなたにおススメです。

『あなたの言葉を』 辻村深月著 毎日新聞出版社 2024



中高生がよく知っている作家さんというのは、時代とともに変わっていきます。今なら、辻村深月さんは、その筆頭ではないでしょうか？中高生から、「辻村さんは大人なのに、どうして僕たちの気持ちがわかるんですか？」と良く聞かれるそうです。その答えは、この本の中にありますよ。

『夢を叶えるために脳はある』 池谷祐二著 講談社 2024



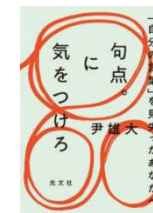
この本、厚さが4センチありました。栄光学園の高校生10名に向けて行った連続講義を下敷きに、徹底的に推敲し、気合をいれた結果なのですが、現時点の脳科学の最前線の知識のもとに書かれた著者渾身の1冊。こういったジャンルに関心があるなら、ぜひ読んで欲しいです。脳の解説書という範疇を逸脱し問題作でもあるこの本は、ある意味文学でもあり得ると自負しています。

『14歳からの数学』 佐治春夫著 春夏社 2019



数学は、自然界のことや、宇宙のことを語るための、世界共通言語だと著者は言います。著者は物理学者なのですが、日々数学のお世話にならない日はないそうです。純粋な数学者とは違う立場で、数学の面白さや美しさの一部を案内できたらと考えて生まれた本です。月曜から日曜までの一週間の数学散歩、あなたも一緒に散歩してみませんか？中学生で学ぶ数学が基本です。

『句点。に気をつけろ』 尹雄大 光文社 2024



著者に「人とうまくコミュニケーションが出来なくて…」と相談してくる人は、言葉がスラスラ出てこないことをマイナスだと感じている。立て板に水のごとく、淀みなく話した最後に句読点の。がつくような言葉。理路整然とした言葉は、本当に自分の言葉なのかと著者は問う。広島と長崎で二重被爆を受けた山口彊さんは、あの日のことを決して滑らかに話せないという。何十年経っても、決して受け入れることができない光景が今も脳裏によみがえるからだ。どの章も、立ち止まって考えたい本です。

『本を読んだことがない32歳がはじめて本を読む』 かまど：みくのしん



ライターなのに、本を読んだことがないというみくのしんに、親友のかまどが、『走れメロス』を差し出した。その厚さにおののくみくのしん。でも「走れメロス」はその中の一つの短編と知り、気を取り直す。活字を読んでいると、いつしかどこを読んでいるかわからなくなるため、早い時期に、本をよむことをあきらめてしまったらしい。みくのしんは、音読をはじめ。そして、気になることはかまどに聞きまくる。でもそうやってメロスの世界に入っていたみくのしんは、太宰治の文章に感動。『走れメロス』を号泣しながら読み終えた。本を読むってどういうことなのか、考えさせられます。すらすら読める私たちの多くは、彼のようにメロスを味わえていないのでは？そして、次に手にとったのは一房の葡萄！

10月にはいった本の一部です。リクエストは常時受け付けています。

登録番号	NDC	書名	著者名1	出版者
040071	049	書き出し小説	天久聖一 編	新潮社
039990	141	みたてのくみたて	田中達也 著	ダイヤモンド社
040052	175	神社のえほん	羽尻利門 作	あすなろ書房
040044	304	半径5メートルのフェイク論「これ、全部フェイクです」	岡田憲治	東洋経済新報社
039995	316	アイヌもやもや	北原モコットウナシ 著	303B00KS
040045	334	隣人のあなた	安田菜津紀 著	岩波書店
040042	481	進化のたまもの!どうぶつのタマタマ学	丸山貴史 著	緑書房
040055	519	やさしくわかるカーボンニュートラル	小野崎正樹 著	技術評論社
040043	520	アニメオタクの一級建築士が建築の面白さを徹底解剖する本。	NoMaDoS	彩図社
040065	645	猫社会学、はじめます	赤川学 編	筑摩書房
040053	702	モナ・リザってどこがすごいの?	池上英洋 監修	誠文堂新光社
040062	757	ルール?本	菅俊一	フィルムアート
040067	801	言語の本質	今井むつみ, 秋田喜美 著	中央公論新社
039977	835	ハートで感じる英文法	大西泰斗他	NHK 出版
039999	910	オビから読むブックガイド	竹内勝巳 著	勉誠出版
040066	913	蜘蛛	にやるら 著	講談社
040039	913	肉体のジェンダーを笑うな	山崎ナオコーラ	集英社
040024	923	三体	劉慈欣 著	早川書房
040071	E	みんなのいえ	たしろちさと	文溪堂

10月のブックカフェの報告

10月1日(火)「黒田先生、家を作る」

参加してくれたのは、中1と中3の皆さん約20名ぐらいだったでしょうか。図書館で用意した紅茶やコーヒーを飲みながら、とても和やかな時間を過ごしました。黒田先生のお話は、意外なことばかりで、聞いていた皆さんの黒田先生のイメージが大きく変わったみたいです。

あんまり面白かったので、3学期には第二弾もお願いしました。聞き逃した人はぜひ、第二弾にご参加ください。



後期図書委員会始動!

後期の活動目標は、「字の海の羅針盤」です。図書館という字の海で、羅針盤のような存在になろうという図書委員の意気込みを感じてください。具体的な活動は、これからひとりひとりが本当にやりたいことを考えて実行していくと思います。

後期も、ブックカフェを行います。それから前期できなかった映画鑑賞会も。ぜひ図書委員会への要望もお寄せください。

読書効果の科学 猪原敬介著 京都大学学術出版会 2024

10月に出たばかりの本です。読書について研究している先生が書かれています。そこから導き出された結論は、きわめて妥当です。

【原則1】 平均的には効果は穏やか。気長に気楽に。

【原則2】 「読みすぎ」は弊害を生む。目安は1日30分~1時間。

【原則3】 個人差は大きい。読書そのものが合わない人もいます。



こんなことやってます!



77回生 国語 描写で選ぶこの1冊



『盆土産』(三浦哲郎著)で描写について学んだあとは、自分が選んだ1冊から、気に入った描写を見つけ、伝え合う読書会をします。この日は、読みたい本を探していました。

78回生 国語 書き出し大賞



小説から、気に入った書き出しを探す1時間。その後、その中からこれぞと思う書き出しを選んで、クラスで投票をするそうです。最後はオリジナルな書き出しを各自書くそうです。

76回生 社会 日本の民主主義の問題点を考える



ちょうど、衆議院選挙が終わったばかりで、中学生も日本の政治の今後が気になるのではないのでしょうか? パネルディスカッションをしながら、日本の民主主義の問題点を考えるという授業。まずは書籍からスタートするというので約70冊の本を用意しました。